



## 1. うちのみかにだまし [かにだまし科]

*Polonyx utinomii* MIYAKE

甲長4mm, 甲幅5.5mm内外。甲殻は卵形, 前半は後半よりも幅せまく, 額角は下方に彎曲して鈍端を有す。甲背は平滑。鉗脚は左右不同, 腕節は幅広く, その前縁はほぼ一直線をなし, 掌節は内外側に膨出し, 外側に長短毛が群生。紀州田辺湾の干潟に棲息するツバサゴカイの棲管内に共棲。本種は他地方にも棲息すると考えられる。近似種 *P. sinensis* STIMPSON はムギワラムシの棲管に共棲し, 有明海・天草・愛媛県より採集されている。同一棲管内に雌雄1対共棲。抱卵期不明。図は雄

## 2. ベっこうかにだまし

*Porcellana pulchra* STIMPSON

甲長(額角をふくむ)雄7mm, 抱卵雌5.5mm。甲背, 胸脚は平滑。甲の前側縁には鈍歯1個を具えるだけ。鉗脚は左右わずかに不同, 腕節の基部は幅広く, 前縁に1歯あり, 掌節の外側縁はほぼ直線をなして細くとなり, かつ長毛列生。舞鶴・瀬戸内海・有明海・中華渤海・ホンコンに分布。抱卵期5, 9月(有明海)。水深は干潮線下から20mまで。春季の干潮時ならば内湾の砂泥地では磯採集できる。図は雄。

## 3. うみえらかにだまし

*Porcellanella picta* STIMPSON

甲長(額角をふくむ)雌雄ともに13mm。甲背, 胸脚は平滑, 白色の地に特異な斑紋がみられるが, 雄は淡紫ないし灰褐色, 雌は赤褐色の別がある。鉗脚は左右わずかに不同, 掌節の内外側は膨出し, 内側の先端にちかく軟毛群生。歩脚は短大, 指節にある数個の鋭突起は宿主に付着するさいに役立つ。相模湾・伊勢湾・田辺湾・土佐湾・瀬戸内海・天草・ホンコン・アンダマ海メルゲイ諸島に分布。雌雄1対がトゲウミエラに付着。水深20~50m。抱卵期11月。図は雌。

## 4. あかほしかにだまし

*Neopetrolisthes ohshimai* MIYAKE

甲長(額角をふくむ)雄11.8mm, 抱卵雌14.5mm。甲背・胸脚は平滑で陶器様の光沢がある。甲背はつよく彎曲, 胃域はことに著しい。鉗脚は短大, 左右わずかに不同, 腕節の前縁に3個の鋭歯がある。琉球(石垣島, 基産地)・パラオ・マーシャル諸島・濠洲大保礁に棲息するが, 印度太平洋のサンゴ礁に広く分布するだろう。抱卵期5~6月(パラオ, 石垣島)。本種はカクレクマノミ, ヤドリエビ *Periclimenes brevicarpalis* とともに大型のはたごいそぎんちゃくの口道内にかくれて複雑な共棲を行う。1個の宿主に本種, エビは各1対, 魚は2, 3匹が普通。図は雄。

## 5. とうようがらてあ [ガラテア科]

*Galathea orientalis* STIMPSON

本属は多数の種をふくみ, 甲背, 胸脚に多数の棘毛を着生し, 甲背には横しわもまた多く, その数は変異が多くて複雑である。横しわの数や位置, 棘の着生部位は種を決定する特徴であるので, 調査のさいは標本を水にいれるかまたは完全に乾燥して観察することがのぞましい。本種は甲長(額角をふくむ)6mm以下の小形種で, 浅海にすむ最も普通な1種。生時は原因よりはもっと紫褐色のつよい色彩のものもある。甲背の棘は胃域の前端にある1対だけ。陸奥湾・富山湾・朝鮮海峡・瀬戸内海および東京湾以南太平洋沿岸・琉球・小笠原・ホンコンに分布。抱卵期は6~8月および12月~3月。図は雄。

## 6. こしおりえび

*Cervimunida princeps* BENEDICT

雄甲長40mm, 額角をふくめて59mm, 鉗脚200mm, 抱卵雌甲長28mm, 鉗脚57mm。額角は背面からは単一長棘にみえるが, 下方につよく彎曲し, 背側に数棘, 腹側には先端から3に鋭棘1個が分岐して鹿の角を想わせる。眼上棘は斜め上方に突出。甲背にある多数の横しわの前縁に短毛密生, 前半部, 前側縁に棘歯が着生。鉗脚は左右相称, 雄は雌より長く, 多数の棘が着生。ガラテア科随一の大型種。本邦固有種で, 金華山・犬吠岬・相模湾・駿河湾・土佐湾・豊後水道・宮崎細島・佐渡・山形沖に分布。水深76~452m。抱卵期11~12月。図は雄。

## 7. とげえびもどき [えびもどき科]

*Uroptychus scandens* BENEDICT

雄甲5.5×6.5mm, 鉗脚30mm, 抱卵雌甲3.5×4mm, 鉗脚22mm。額角は鋭く突出。甲背の前側部に棘毛密在し, 他は平滑。鉗脚は左右相称, 絹糸状の長毛束が多数着生。雄の鉗脚は雌のそれよりやや太く, 可動指の基部に鈍歯が1個あるが, 雌にはない。小湊・相模湾・大王崎・豊後水道・東支那海(農林漁区 No. 248)・パンダ海(Kei Is.)に分布。水深110~393m。抱卵期4~7月および11月(紀州)。1個体の抱卵は少数で11~18個を数え, 卵径0.7~1mm。ウミエラに共棲。図は雄。

## 8. むぎわらえび

*Chirostylus dolichopus* ORTMANN

甲殻雄6.3×5mm, 抱卵雌6.1×5.2mm。甲背は平滑無毛, 前半は細く鰓域は膨出, 側縁に小棘が列生し, 前縁に4棘が着生。額角は欠き, 眼は大。胸脚は細長くて, 雄は甲長の11倍, 雌は8倍もあり, 多数の棘を着生。第5胸脚は短小。浦賀水道(基産地)・相模湾(亀城礁, 観音塚出し)に分布。水深50~68m。抱卵期12月~1月。大形卵(径1.5×1.8mm)15~21個を抱卵。生態不詳。図は抱卵雌。〔三宅貞祥〕